

注意点1



スウィープ+タッピングの基本動作をマスターしよう

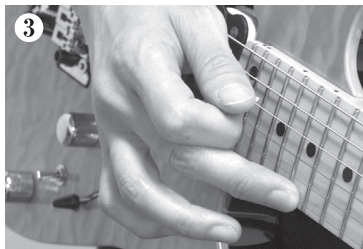
まずは、4小節目3 & 4拍目に登場するスウィープ+タッピングの動きを確認してもらいたい(写真①~④)。ここで最も注意してもらいたいのは、スウィープ→タッピング→スウィープと弾く右手の流れだ。4小節目3拍目で1弦10フレットをダウンで弾いた後、1弦14フレットを小指でハンマリングするのだが、この瞬間に右手はタッピングするポジション付近に移動させておく(写真②)。その後2弦12フレットをアップでピッキングする際には、しっかりとスウィープの体勢に戻しておくようにすること(写真④)。たまにタッピングするポジション付近の指板上でスウィープ・ピッキングしている人を見かけるが、サウンドの質を一定に保つため、通常と同じピッキング・ポジションで弾くように心がけよう。



1弦をダウン・ピッキング。ここで上昇スウィープは終了。



小指によるハンマリング時。右手はタッピングの準備を!



ピックを持ったまま、中指で1弦19fをタッピング。



スウィープ体勢に戻って、2弦をアップ・ピッキング。

注意点2



トライアドの形を守ってポジション移動をしよう

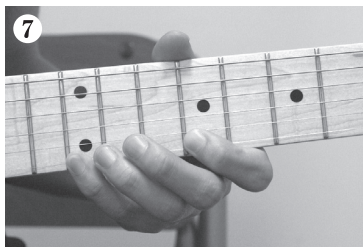
このフレーズでも、5弦ルートのトライアドを使ったコード・トーンが使われていて、1小節内で3回以上コード・チェンジが行なわれる。上昇&下降ともに小指を先頭にコード・チェンジを行なうため、小指で押さえるフレットを頭に入れておくことが大切だ。特に難易度が高いのが4小節目1拍目(写真⑤~⑦)で、5弦10フレットから1弦12fへと弦跳びが登場している。ここで、小指から小指の移動だからと言っても、小指だけの移動をくり返し練習してはダメだ。写真⑥&⑦を見てもえればわかると思うが、小指と一緒に人差指も移動しなくては意味がない。トライアドを弾く際には、トライアドの形ごと移動する感覚を養うようにしよう。スウィープの高速化のために、このことを守って精進してもらいたい。



4弦9fを薬指で押弦。人差指はミュートも行なう。



5弦10fを小指で押弦。この後1弦へ大移動だ。



1弦12fを小指で押弦。人差指も一緒に移動させること。

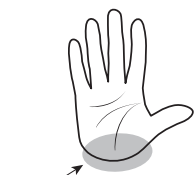
~コラム36~

地獄の戯れ言

スウィープは、速さを追求し過ぎて、きれいに弾くことを忘れがちになりやすい。ここでは、きれいに弾くために必要な正しいミュートのかけ方について触れよう。ミュートは、ただかけているだけではダメだ。よくブリッジ・ミュートをかけ過ぎて、モコモコ弾いてしまう人がいるが、これではクリアな音が得られない。正しいミュートとは、弦移動した前の音を消音することだ。そのためには、右手首のあたりを使うのがベストだろう(図1-a)。また、このミュート感覚を鈍らせないために手首は固定し、腕を真っ直ぐ移動させると良い(図1-b)。手首を振ると、ミュートの感覚が変化するのでやめよう!

最重要ミッション スウィープを美しく弾け!

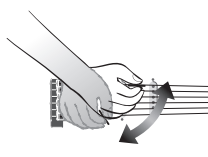
図1-a 右手首でのミュート



基本的にミュートはこの部分を使うが、自分に合った場所を探そう。

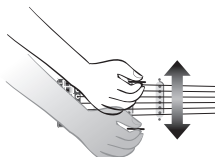
図1-b 手首の使い方

手首を振るパターン



ミュートの感覚が変わってしまうので禁止。

手首を固定するパターン



1~6弦までミュートの感覚が変わらない。